

宮川 豊美

(和洋女子大)

目的 女子学生の体重への関心は依然高く、その多くは「痩せ願望」である。この傾向は、小学校高学年女子から高校生にまでも見られると報じられている。私共は日常学生と接していて、肥満している者は少なく、むしろ痩せている学生が目立つようになって来ていることを観察している。食物・栄養関係を専攻している学生にも関わらず、体位についての認識が少なく、食事制限を行っていることも耳にし、また、体調不良や疲れやすい等を訴える学生も少なくないことから、身体計測・血圧・体温測定等で得られた平成9・10年の結果を、平成2年の調査と比較しながら検討を行ったので報告する。

方法 観察した対象者は本学家政学系に在籍する19～21才の健康な女子学生198名である。測定項目は、身長・体重(1mm、50g目盛)、体脂肪量(タニタ体内脂肪計)、リバロッチ血圧計、平型(公差 $\pm 0.1^{\circ}\text{C}$ )及び電子体温計(テルモ)である。

測定期間は、両年共4～7月と10～12月であり、環境は室温 $18\sim 25^{\circ}\text{C}$ 、湿度40～68%である。測定室内で30分以上安静を保った後(食後は60分以上経過後)、常法に従って測定を行ったが、血圧・体温は椅座位で、上腕動脈、腋窩・口腔にて測定した。

結果 平成10年の身長は $158.3\pm 5.1\text{ cm}$ 、体重 $51.8\pm 7.1\text{ kg}$ 、BMI $20.7\pm 2.6$ 、体脂肪率 $24.3\pm 5.0\%$ 、肥満度 $-6.3\pm 11.7\%$ であった。また、心拍数 $71.6\pm 7.5$ 、血圧 $108.8\pm 9.4/64.1\pm 5.3\text{ mmHg}$ (熟練者測定)、肺活量 $2999\pm 506\text{ ml}$ であった。体温は平型腋窩温 $36.97\pm 0.33^{\circ}\text{C}$ 、口腔温 $37.17\pm 0.28^{\circ}\text{C}$ 、電子推測時 $36.90\pm 0.39^{\circ}\text{C}$ 、平衡温時は腋窩852秒、口腔720秒であり、いずれも平成9年測定値との間に差は見られなかった。